

令和8年度（第99回）

UNDER 2000
MIE

全国安全週間メッセージ

三重労働局長 渡辺 聡

全国安全週間は、「人命尊重」を基本理念に、産業界における自主的な労働災害防止活動を推進し、安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的として、長年にわたり継続して実施されてきた取組です。

この間、労使が協調して労働災害防止対策に取り組まれてきた結果、令和7年の三重県内における労働災害による死亡者数は、対前年比8人減少し、過去最少の7人となりました。

一方、休業4日以上之死傷者数は、対前年比6人増の2,349人となり、5年連続の増加となっています。令和3年以降、死傷者数は増加傾向が続いており、労働災害防止に向けた取組の一層の強化が求められます。

特に、高年齢労働者の増加等を背景として、転倒や腰痛など、作業行動に起因する死傷災害は依然として増加傾向にあります。

また、令和7年に発生した死亡災害を見ると、墜落・転落に限らず、物の崩壊・倒壊、交通事故、激突されなど、様々な種類の災害が発生しています。

このため、作業内容や職場環境等に応じた的確な労働災害防止対策を講じることが不可欠となっています。

このような状況の下、本年も「死亡災害ゼロ・アンダー2,000みえ推進運動」を展開するとともに、「第14次労働災害防止計画」（令和5年度～令和9年度）に基づき、労使一丸となった取組が重要です。

令和8年度の全国安全週間は、

「多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場」

をスローガンとして展開されます。

本週間を契機として、労働災害防止活動の重要性を改めて御認識いただき、多様な人材が参加した安全で安心な職場づくりに、より一層取り組みましょう。

令和8年度（第99回）全国安全週間

期 間 令和8年7月1日～7月7日

準備期間 令和8年6月1日～6月30日

三重労働局では、

**死亡災害ゼロ・アンダー2,000みえ
無災害1・2・3トライアル**

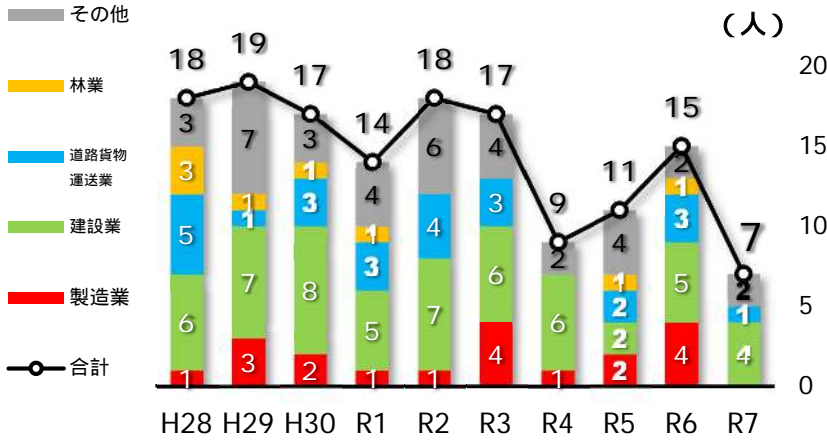
を実施し、無災害に挑戦する事業場を募集しています

申込は
こちら

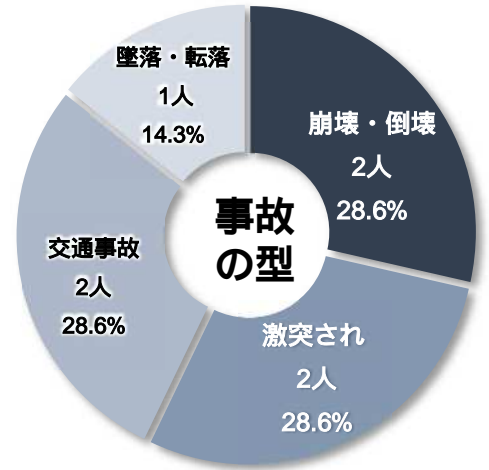


【三重県内における労働者の安全を取り巻く状況】

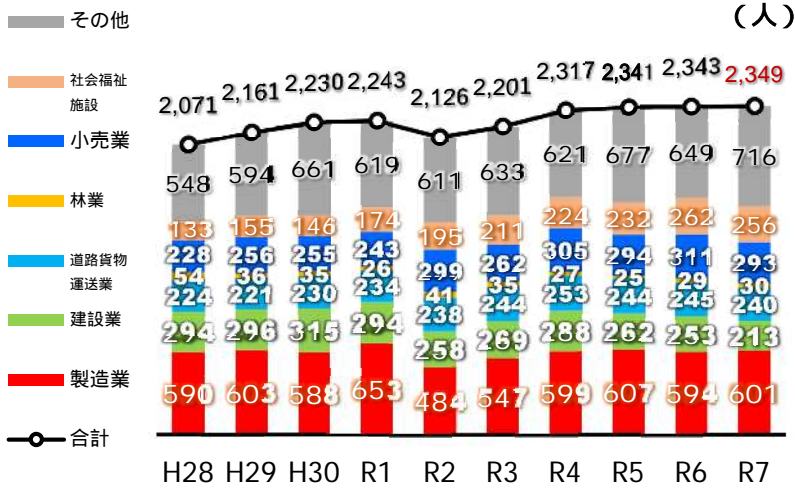
死亡災害発生状況



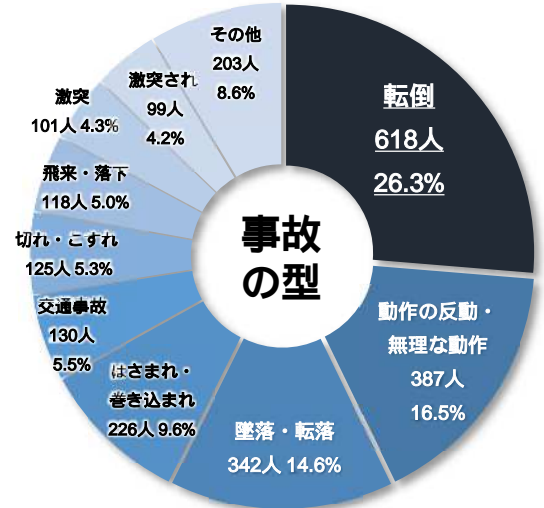
令和7年の内訳



休業4日以上の死傷災害発生状況



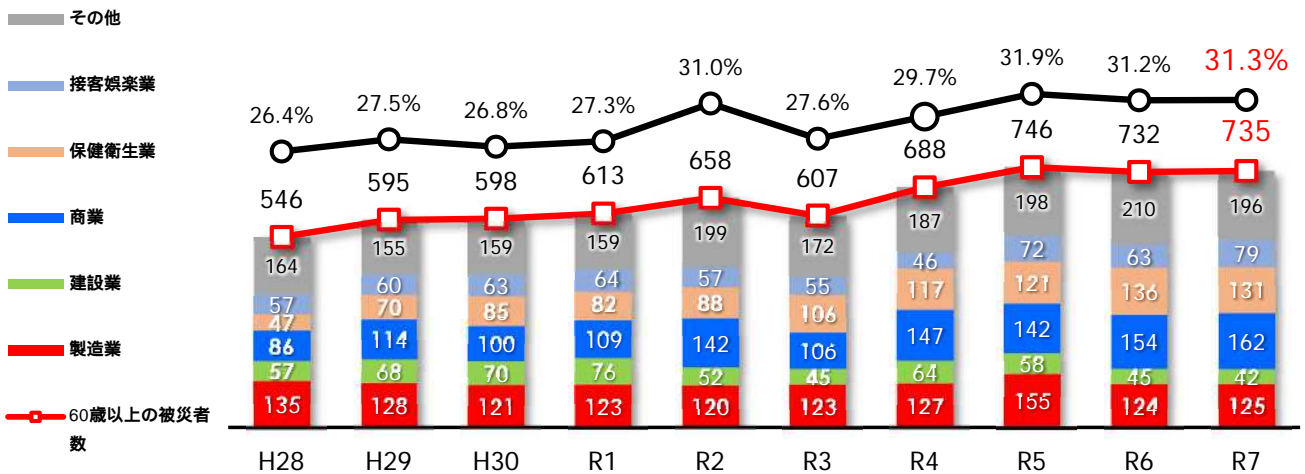
令和7年の内訳



高齢労働者（60歳以上）の労働災害発生状況

～業種別・休業4日以上の死傷者数～

(人)



三重労働局では、死亡災害の撲滅と死傷災害2,000人未満を目指して
「令和8年死亡災害ゼロ・アンダー2,000みえ推進運動」
 を展開しています。

令和8年 アンダー2000みえ

検索